

美術の窓 (126)

宮川長春と売立目録

大和文華館館長 浅野秀剛

この『美のたより』に掲載した
 展覧会案内のとおり、10月12日
 から「特別展 宮川長春」が開
 催される。本邦初の長春展（世
 界初でもあるが、ちょっと大袈裟
 なので）、長春の作品ばかり74
 点出品される画期的な（少なく
 とも担当者の私はそう思っている）
 展覧会である。

特別展・企画展を開催しよう
 とする場合、その企画の趣旨に
 合わせて、出品候補作品を選
 定し、所蔵者と交渉するのであ
 るが、知人から、そういう作品を
 どうやって探すのか、誰が何を
 持っているのかをどうやって調
 べるのか、と聞かれたことがある。
 その時は、「餅は餅屋ですから、
 普段から情報を集めて」、などと
 適当にあしらった記憶があるが、
 実際、展覧会の企画を立てる場
 合、それが最も重要となる。今回
 の展覧会は、「長春」の単独展で、
 門弟の作品などは出さないと決
 めていたので、企画趣旨はシン
 プルそのもの。長春の作品がど
 のくらい伝存し、誰が所有してい
 るかを調べることから始めた。残
 念ながら長春の作品目録は誰も
 作っていないので、過去に発表
 された関係論文、画集、展覧会
 図録などから作品を抽出し、所

蔵者を調べた。平行して、友人
 や古美術商などに照会し助言
 を求める。そうやって情報を集め
 ながら出品交渉をするのである。

出品交渉をしながら、今回、機
 を得て展覧会を開催するのであ
 るから、長春の総作品目録を制
 作できないかと考えた。しかし、
 すぐに断念した。それは、過去に
 出された売立目録・オークション
 カタログの類から、長春作品を抽
 出する時間が取れそうもなかつ
 たからである。参考文献のなか
 でも、単行本、画集、雑誌類は比
 較的容易に検索・閲覧できるが、
 所蔵品目録、展覧会図録は以
 外に厄介である。それでも、美術
 館勤めであれば、そこまでは何と
 かなるが、決定的に面倒なのが、
 売立目録類である。近年ようやく、
 都守淳夫『売立目録の書誌と
 全国所在一覧』（勉誠出版、
 2001年）が刊行され、国内で刊
 行された売立目録の所蔵先が
 明らかになったのはすばらしいが、
 数千もある売立目録のどれに長
 春が載っているのかは、一冊一
 冊めくって調べなければ分から
 ない。その時間まではとても取れ
 なかったのである。

という訳で、大和文華館など
 が所蔵する売立目録から見出し
 た長春の作品の中からいくつか
 を紹介してみたい。

図1「梅下官女図」は、売立
 目録ではなく『三田博物館出陳
 図録』（1919年10月）に載って
 いたものである。出品作である「4
 伊勢図」とほとんど同じ図様で
 あるが、『日本画大成40 肉筆
 浮世絵（一）』（1933年）に載っ
 ているものより似ている。図2「立
 美人図」は、『京都遠藤家所蔵
 品入札もくろく』（1936年12月）
 に載っていたものであり、右歩行
 右手褰型の典型例である。最も
 類似するのは大英博物館蔵品
 で、比べるまでは同一作品かと
 思ったほどである。『尾ノ道小西
 家并に某家所蔵品入札もくろく』（
 1937年5月）に載っていた図
 3「遊女と二人の禿図」も、比
 較するまでは出品作である「49
 遊女と二人の禿図」と同一作品
 かと思ったが、落款などが異なっ
 ていた。この三人の姿形は、類
 似図様を見出していなかったも
 ので、真贋に問題がなければ、
 論文の記述に追加すべきものと
 なる。図4「二人の遊女と禿図」
 は『京祇園いづう佐々木寿庵所
 蔵品入札もくろく』（1934年2月）
 に載っていた作品で、出品作「47
 文読み美人図」と「48括り枕と

美人図」を合成したような図様
 である。図5「炬燵の客と遊女」
 （目録では「夕霧伊左衛門」とな
 っている）は『稲葉子爵家平岡
 家御所蔵入札もくろく』（1918年
 3月）に載っていた作品で、出
 品作である「65男女対語図」を
 彷彿とさせるが、落款などから出
 品作よりは後の作例であろう。『朝
 吹柴庵遺愛品入札もくろく』（1928
 年10月）に載っていた図6「三
 番叟図」は、出品作である「20
 万歳図」や「50太神楽図」と同
 種のもので、これなどは真贋を疑
 う必要のないものと思われる。

最後に、展覧会図録でも述べ
 た二作品を挙げておきたい。『浮
 世絵入札目録』（1933年）に載
 る図7「文読む美人図」は、「48
 括り枕と美人図」で触れた作品。
 図8「髪をすく立美人」は、出品
 作「27柳下腰掛美人図」の項
 で言及したスプリングフィールド
 美術館蔵品であるが、『当市（京
 都）下京某大家田中来蘇氏・福
 井市生田成工軒氏所蔵品入
 札並に諸先生嵯峨大覚寺寄贈
 品もくろく』（1928年3月）に掲
 載されていた。これは、右下の識
 語にあるように河鍋晩斎旧蔵で
 ある。

図8『スプリングフィ
 ールド美術館秘蔵浮
 世絵名品展』（1944）
 より複写

図1



図2



図3



図4



図5

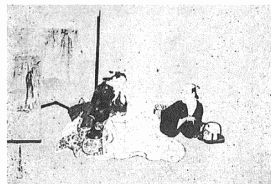


図6



図7



図8



季刊 美のたより No.184

平成25年10月13日

発行 大和文華館